

令和4年度 大和市立病院運営審議会 会議録
(第4回)

日時 令和5年2月27日(月)
午後7時から

場所 大和市立病院 3階 講堂北

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 (議題)大和市立病院経営計画について
- 4 (議題)令和5年度当初予算について
- 5 (報告)地域医療支援病院の業務遂行状況について
- 6 閉会

令和4年度 第4回 大和市立病院運営審議会 会議録(要点筆記)

開催日時 令和5年2月27日(月)午後7時~午後8時15分

開催場所 大和市立病院3階 講堂北

出席者 横田委員(医師会) 楠原委員(医師会) 木山委員(医師会)
堀口委員(市議会) 小倉委員(市議会) 相澤委員(利用者の代表)
小川委員(利用者の代表) 南淵委員(学識経験者) 加藤委員(市長の認めた者)

欠席者 川淵委員(学識経験者)

事務局 病院長 事務局長 病院総務課長 総務調整係長 施設用度係長
医事課長 医事・入院係長 外来係長 診療情報管理センター長 診療情報管理係長
地域連携科長 地域連携科長補佐 経営戦略室長 経営戦略係長
ほか事務局2名

議題 大和市立病院経営計画について
令和5年度当初予算について
地域医療支援病院の業務遂行状況について

Ⅰ 大和市立病院経営計画について

(事務局)

「資料Ⅰ」に基づき説明。

(委員)

指定管理者を対象にしていけないということを明確にしたということにより市民の方が安心するのではないかと感じる。

ICT活用等による委託費等固定経費削減の検討という意味をもう少し分かりやすく教えていただきたい。

(事務局)

医療材料や薬品の物品管理を将来的にRFIDなどの無線タグ化して人の管理を軽減出来るような取り組みを進めていければ良いと考えている。

(委員)

棚卸し等は大変な作業だと思うのでそういった取り組みを進めていっていければ良いと思う。

(委員)

マイナンバーカードと病院の関わりはどのような形で進んでいるか？

(事務局)

現状、マイナンバーカードの保険証利用については多くの方は利用していない状況。令和4年1月から3月までの令和3年度実績は月平均6件であった。令和4年度の実績としては12月までで計算すると月平均25件というところにとどまっている状況。しかし、国が紙の保険証を原則廃止するという打ち出した10月以降だと月平均50件ぐらいに増えているので、使用者は徐々に増加している状況ではある。

マイナンバーカードの保険証を使った活用方法として具体的な話は出ていないが、今後の動向を見守りながら、活用方法をまた検討していきたいと考えている。

(委員)

情報漏洩の危険性を危惧している。セキュリティの強化や安全管理を必ず考えていただきたいと思っている。

(委員長)

電子処方箋の動きはどうなっているか？

(事務局長)

本格的な導入はまだ考えておらず、周囲の状況を調査している段階。

(委員長)

前回諮問され、本日最終報告を受けた、大和市立病院経営計画(案)について、委員全員が「適当」と判断していると考えてよいか？

(委員全員)

承認。

(委員長)

「大和市立病院経営計画(2023年度から2027年度)(案)」は適当であるとします。

会長である私と事務局にて答申書を作成する。市長への答申については3月1日に会長である私と職務代理である堀口委員で行わせて頂く。

2 令和5年度当初予算について

(事務局)

「資料2」に基づき説明。

(委員)

外来収入について、患者数が増えるから外来の1人当たりの単価も増えるという説明だが、なぜ患者数が増えると単価も上がるのか？

(事務局)

正確には病診連携を強化し重症患者を多く受けることで、診療単価が上がり、1人当たりの単価も増えるということである。

(委員)

給与費のベースアップは行っていないのか？

(事務局)

人事院勧告に基づいて給料表の改定を行った。初任給は引き上がり、30代半ばまでの職員についてはベースアップとなっている。

(委員)

光熱費について、太陽光パネルをつける等の工夫は考えていないのか？

(事務局)

太陽光パネルについては具体的などころまでは考えられていない。現状としてLED化を徐々に進めているがスピードアップをしていきたいと思っている。

(委員長)

不足分を内部留保で補うというのは病院に残っている資金で補うということか？

(事務局)

その通りである。

(委員長)

内部留保はどのくらいあるのか？

(事務局)

1月末現在で病院の現金預金の残高はおよそ12億円。3月末の期末残高としておよそ7~8億円を見込んでいる。

3 地域医療支援病院に関する報告について

(事務局)

「資料3」に基づき説明。

(委員)

地域の医療従事者に対する研修実績について、令和2年と令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響で回数や人数が減ったというのは分かるが、令和4年もコロナ前と比べて少ないと感じるので、今後の見通しをどのように考えているのか？

(事務局)

コロナの関係で多くの研修の開催方法が集合開催からリモート開催に転換している影響が大きいと感じている。集合開催では大勢の方を集めることができたのが、リモート開催では少人数になってしまうのが人数に表れていると感じている。ただ、今後はリモート開催が増えていくと思われる。

(委員)

アフターコロナの社会でも、リモート研修は残っていくと感じているが、少しずつ集合研修も戻ってきている。5月には5類扱いにもなるので、大和市立病院として、集合研修を行う予定はないのか？

(事務局)

顔を合わせて直接話をするというのはすごく大事だと医療機関への訪問等で感じているので全部リモートではなく、できる範囲の中で対面というのは残していきたいと考えている。

(委員)

リモートはコミュニケーションを取るのが難しいと感じている。研修をすることによって知識の広がりが出てくると思うので、色々なセッションを行ってより良い医療活動ができれば良いと期待をしている。

(委員)

救急車で搬送された場合とそれ以外の救急の場合、選定療養費はどうなるのか？

(事務局)

選定療養費について、紹介状のない患者から徴収するルールになっていて、基本的な考え方としては、来られた時間帯に地域医療センターや地域の医療機関がクローズしているような当院以外に受け皿がないような場合であれば、徴収しないという例外的な運用をしているが、基本的には徴収している。ただ、救急車で運ばれてきた患者については徴収しない運用である。

(委員)

病児保育室「ぼかぼか」の子供が急変し、大和市立病院で診察した場合に選定療養費が掛かると案内されているが、病児保育室のスタッフの方が診察が必要だと判断した場合、スタッフの判断で病院に連れていくが選定療養費が7,700円も掛かるとなかなか安心して預けられないと思っているので、なにか大和市側と調整はしていないのか？なるべく子育て中の方達の負担を減らしていきたいと思っている。

(事務局)

大和市側との調整は現状では行っていない。まずはかかりつけのクリニックへという対応が原則と考えている。

(委員)

急変時は大和市立病院の方に受診する場合があるということで保険証や診察券も一緒に預ける形になっているので、選定療養費や医師の回診について市側と調整や検討を進めてほしいと思っている。

(委員長)

熱が出たから大和市立病院受診しただけでも選定療養費が掛かるのか？

(事務局)

紹介状がない初診だと選定療養費が掛かる。

(委員長)

この問題は引き続き検討して欲しい。

(委員長)

開放病床の利用実績が年々少なくなっているが、大和市立病院側は開放病床の存在意義をどのように捉えているか？

(事務局長)

ここ数年は本当に少ない状況が続いている。理由として、紹介をして入院してもらった方がスムーズにいくということがあると思われる。あとは電子カルテを導入したことによって、先生が来てそれを入力するということもなかなか難しいと感じている。ただ、開放病床については地域医療支援病院の要件の一つとなっているのでなくすことは出来ない状況。しかし、病床数に決まりはないので、現在の15床から減らすということは検討していかなければならないと考えている。

(委員)

研修の対象となっている医療従事者というのは大和市内の病院やクリニックになるのか？

(事務局長)

登録されているのは大和市内だけではなく大和市外の医師も含まれている。医師だけではなく看護師や介護施設の職員の研修も行っている。コロナ前には100人規模の研修を行った実績もある。

(委員)

大和市立病院が先頭となってどんどん研修を行ってほしいと思っている。

400床以上ある病院としては患者サポートセンターの職員が少ないと感じるし、MSWの人数も少ないのではないかと？

(事務局長)

最近では患者が自分の病態を含めて相談される場合が多くなっているため、看護師資格を持った職員が適切にアドバイスする方がスムーズに進んでいる。ただ、MSWは社会保険等の制度に精通しているので連携しながら相談業務に取り組んでいる。

MSW4人というのが適切かどうかは今後検討する必要があると思うが、患者サポートセンターの職員数自体は他の公立病院と比べると多い状況ではある。

(委員)

この職員達は専従か？

(事務局長)

専従である。

4 その他

(事務局)

現委員の任期は9月末まで。書面にて必要な報告や情報提供等を行う機会はあると思うが、次の開催は10月頃を予定。

以上